

第50回信頼性・保全性・安全性シンポジウム

2020年6月18日(木)～19日(金) 日本教育会館

当シンポジウムは、「産」「学」「官」から「信頼性・保全性・安全性」に携わるトップクラスの技術者、研究者、管理者・推進者が一同に会し、研究・実践事例の成果について発表・討論を集中的に行う場として定着し、国内外から高い評価を得ております。

第50回 シンポジウムでの一般発表(研究論文、事例報告)を募集いたします

この機会に、日頃の皆様の成果をご披露いただき、信頼性活動の一層の活性化・発展と自己成長に向けて、積極的に発表にご応募ください。

発表申込に関する詳細はこちらから

<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/50rms>

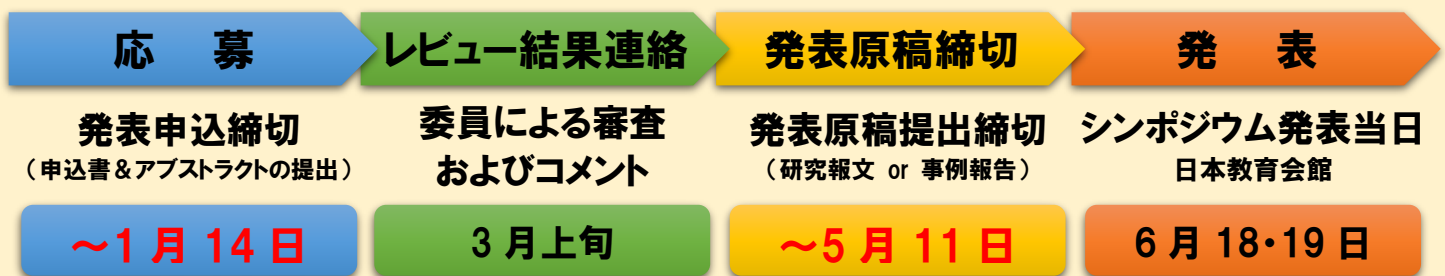
50RM&S

検索

信頼性・保全性シンポジウムの名称変更について

信頼性・保全性シンポジウムは、長らく同名称で開催してきましたが、昨今は安全性に関するテーマを取り上げることも多くなっているため、実態に合わせて、第50回から『信頼性・保全性・安全性シンポジウム(略称:RM&Sシンポジウム)』に名称変更することになりました。

■ 発表論文募集スケジュール



投稿要領

研究論文、事例報告の2カテゴリの投稿を募集します。
 日科技連所定の「①発表申込書」と「②申込用アブストラクト」を2020年1月14日(火)までに50RM&S担当宛にご提出ください。
 研究論文： 論文を投稿いただけます。
 事例報告： パワーポイント等で作成した発表スライドを投稿いただけます。

申込用アブストラクトの仕様(書き方)

- A4用紙に図表を含め2枚以内(1,500~2,000文字程度)にまとめてください。
- 「発表テーマ(発表分野)」、「発表者名」をご記入のうえ、必ず下記を盛り込んでください。
 - ねらい(主張を明確に)
 - 実施概要(アウトラインとサマリーを記載)
 - 結論(改善成果)

※発表時間は30分(発表20分、質疑応答10分)です。

特別参加費 ※発表特典

一般参加費: 38,000円 のところ、発表の特典として
 発表者本人: 5,000円(学生は2,000円)
 共同執筆者: 18,000円(発表論文1件につき1名様に限り) ※すべて税別

表彰

一般発表の中から、論文小委員会および組織委員会の審査を経て、「優秀論文/事例賞(推奨論文賞を改称)」、「奨励論文賞/発表賞」、「学術貢献賞または技術貢献賞(特別賞を改称)」が選出され、賞状と副賞が贈られます。

※論文・事例報告資料の著作権は、著者に帰属しますが、ご提出いただきました論文ならびに事例報告資料(パワーポイント等で作成した発表スライド)は、本シンポジウムの報文集(CD-ROM)に掲載・配付のほか、日科技連 Web サイトに一定期間掲載(発表者・参加者ダウンロード可)され、また、日科技連が発行するその他の印刷物に掲載される場合がございますこと、あらかじめご了承ください。

お問合せ先

一般財団法人 日本科学技術連盟 品質経営研修センター 50RM&S 担当

TEL:03-5378-9850 FAX:03-5378-9842

URL:<http://www.juse.or.jp> E-mail:re-group@juse.or.jp

■発表分野

1. マネジメントとマネジメントシステム
2. 設計技術
3. 統計解析とコンピュータ支援
4. 信頼性・安全性試験と故障解析・事故解析
5. ヒューマン系やソフトウェア系との融合技術
6. 信頼性と関連の深い分野



第 49 回受賞者記念撮影

発表分野に関する詳細情報は、以下のURLにてご確認ください。

<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/50rms>

50RM&S

検索

■ 受賞者の声・表彰報文

過去シンポジウムの受賞者の声

(所属は受賞時のもの)

第 49 回

優秀報文賞受賞 齋藤 彰 様

(株式会社村田製作所)

AI が徐々に社会に浸透し、東京オリンピックが来る頃には 5G がスタートし、情報量が 100 倍の世界がやって来ることでしょう。

IoT や自動運転が本格化してくるそんな世界での故障は、社会に莫大な損害を与えかねません。

そう思うと、信頼性に関わる人間のひとりとして、責任の重さを痛感します。

信頼性は、個別の分野だけでは何ともならないものです。それだけに、信頼性・安全性シンポジウムのような様々な分野の人たちが一堂に会して情報交換し議論できる場はとても貴重だと思います。

関連する発表者に声をかけ、縁のなかつた情報にも触れ、できれば発表することで声をかけてもらえると、信頼性の人脈や情報網が広がっていくことでしょう。

私は、そんな一回り広い世界と接するために、信頼性・安全性シンポジウムに参加しています。



第 49 回(2019 年度)

信頼性・安全性シンポジウム 表彰報文

2019 年 7 月 18 日～19 日に開催された第 49 回信頼性・安全性シンポジウムにおける優秀報文賞・優秀事例賞・奨励報文賞・奨励発表賞が次のとおり決定されました。

優秀報文賞

- TRE (時間分解エミッション) を用いた IGBT (絶縁ゲートバイポーラトランジスタ) アバランシェ降伏時における電流集中現象の観測
遠藤 幸一 様(東芝デバイス&ストレージ株式会社)
- Sn ウィスカ～第 2 のリスク到来の予兆～
齋藤 彰 様(株式会社村田製作所)

優秀事例賞

- 機械学習を活用した空調機早期故障検知
黒田 耕平 様(ダイキン工業株式会社)

奨励報文賞

- 熱衝撃試験と温度サイクル試験の違いについての比較検証
鍵弥 綾香 様(エスペック株式会社)

奨励発表賞

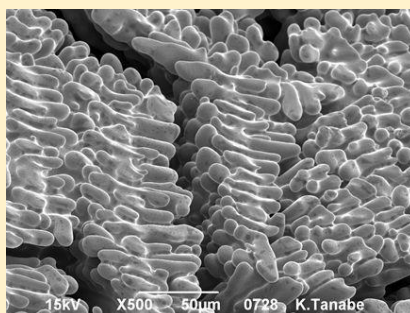
- 電源電圧変調を用いた Electro Optical Frequency Mapping の技術検討
佐伯 光章 様(ルネサスエンジニアリングサービス株式会社)

■フォトコンテスト

本コンテストでは、業務や製品開発の過程(研究・試験・解析など)で見つけた「貴重な一瞬を捉えたイメージ画像」を募集しております。日頃の業務の中で眠っている貴重な作品を是非、ご披露ください！皆様からのご応募をお待ちしております！

New

シミュレーションや計算結果の図の応募も可能になりました！
ご応募をお待ちしています



第 49 回 フォトコンテスト優秀賞
テーマ:「辛子明太子」
出展者:田辺 一彦 様
(NEC プラットフォームズ株式会社)